

祈りの絆

連盟の被災地支援に関する情報は、連盟ホームページをご覧ください。http://www.bapren.jp/

お祈りください

- ①原発事故の収束、汚染水の処理、燃料棒取り出しが速やかに行われるように。
- ②新体制になった東日本被災地支援委員会、現地支援委員会の働きを覚えて。
- ③被災された方々にとって必要な支援活動を行うことができるように。

仮設支援報告

①岩手県・野田村仮設訪問（4月19日実施）

北海道連合と若手・青森チームで支援。今回参加者は10名。野田中集会所、泉沢集会所を訪問。今回は南九州地方連合の牧師会から送られてきたお菓子の「黒棒、白棒」と小松ケ丘教会からのクッキーで「お茶っ子」（お茶会）を開催。また北海道連合災害対策委員会よりいただいた北海道ブレンド米をお届けしました。



②宮城県・牡鹿支援活動（4月20日実施）

仙台地区の教会より30名が参加し、午前中は給分浜、午後は牧浜を訪問。談話室で「お茶っ子」（お茶会）と音楽セッション開催。お茶菓子は北九州の直方教会より届けられました。テントを張り、簡易ベンチを置いてミニカフェを開催。なんとかして、仮設の外に出てお交わりできる場作りの工夫がされています。宮城チームは、5月の支援より、給分浜と牧浜支援を午前中同時進行予定。牧浜の談話室支援は仙台教会、給分浜の談話室支援は大富教会が中心となって行うことになりました。



③宮城県・元裏屋敷仮設住宅支援（4月27日実施）

大富教会より8名が参加。談話室で「お茶っ子」（お茶会）と手品で盛り上がったそうです。今後は2ヶ月に一度訪問することになりました。

④宮城県・宮前仮設支援（4月22日実施）

仙台北教会より5名が参加。鯉のぼりティッシュ、鯉のぼりお菓子セット、菖蒲の香り入浴剤配布。5月9日にも支援にてかけておられます。



⑤福島県・緑が丘東丁仮設支援（4月27日実施）

参加者は14名。ぜんざいを作ってお茶っ子（お茶会）でお出ししました。また、ゆず茶も大好評。今回は歌声喫茶と、ストリート体操、そしてアロマブーケを皆さんで作成しました。終わりのころには男性の方々が増えてきて一生懸命にブーケを作って「トイレに飾るべ」と喜んでおられました。



⑥岩手県・安渡小学校仮設支援（4月18日、27日実施）

盛岡教会による支援活動。4月18日より保育園だった部屋をカフェで使用させていただけることになりました。旧校舎を三月一杯取り壊す予定でしたが、予想以上に諸々の事柄が遅れているため、今年度は校舎の建物は残ること。しばらく、カフェを継続する予定です。

⑦岩手県・小銃第4、第7仮設支援（4月22日、24日実施）

遠野ボランティアセンターを通して参加者5名。ブーケアレンジメントを作りました。瓦礫と更地になった場所に桜が満開でした。



今回の「祈りの絆」では久しぶりに現在支援中の仮設支援活動の一部をご紹介します。2013年度も主から派遣された場所でのように支援活動が続けられます。仮設生活も3年目に入ろうとする今、少しずつ、人間関係が分断されたり、こじれたり、様々な課題が噴出し始めました。「和解の福音に仕える」この使命を私たちは主からいただいて歩み始めた直後の震災です。今、主から教会に求められていることは何か、主に聞きつつ、歩ませていただきたいと思えます。

原発事故に関しては冬に向けて、燃料棒の取り出しや、1号機のカバーを一時期取り外すとのこと。汚染水処理の問題も解決していません。5月5日の礼拝後、郡山コスモス通りキリスト教会の皆さんは保養プロジェクト

東日本大震災被災地支援委員会原発課題班コラム 原子力発電と放射能について 知っておきたいこと⑩

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、多くの裁判を引き起こしています。国家や電力会社の賠償責任が問われています。

聖書と裁判はなじみ深いものです。特に終末についての希望は、正しい裁判に対する希望です。不当におとしめられ涙を流している人、地上の裁判でさえ救済されない人が、世の終わりに来るキリストによって正当に報われるのです。この終末信仰はわたしたちの生き方を方向づけます。

(1) 地上の裁判が御心に沿っているかを見張り、見極めましょう。しばしば起こることは賠償範囲の線引き（たとえば事故現場から30km圏内か圏外かの区分など）による被害者たちの分断です。できる限りの公正さを求めなくてはなりません。被ばくを強いられているすべての人、避難を強いられているすべての人、高線量地域への居住を強いられているすべての人への誠実な謝罪と賠償が必要です。

(2) 立法措置や行政サービス、さらには司法による救済から漏れてしまう人に仕えましょう。制度作りや裁きには限界がありうるからです。教会はソフト面での支援に強みを持っています。東日本委員会も、除染支援・健康診断支援・保養支援などを行っています。

(3) 主の来臨の一日も早いことを祈りましょう。(1)と(2)の不備は、イエス・キリストが来られるとき完全に贖われます。その希望を持っているのでわたしたちは今も事故後のさまざまな状況に苦しむ人々と共に歩むことができます。

原発課題班（城倉啓）

今後の予定

- ◇ 遠野ボランティアセンター
5月14日～18日、5月20日～22日
(※募集は締め切りました。)
6月13日～15日、7月4日～6日
(ボランティアの応募については連盟ホームページ被災地支援ブログにてご確認ください。)
- ◇ 牡鹿支援 5月18日
- ◇ 野田村支援 5月20日
- ◇ 宮前仮設支援 5月21日
- ◇ 緑が丘仮設支援 5月23日
- ◇ 安渡仮設支援 5月27日
- ◇ 第2回アゴラ 5月25日

それぞれの支援活動をおぼえお祈りください。



会津 鶴ヶ城



として、会津の鶴ヶ城に出かけました。車の窓を開けてのドライブは、本当に久しぶりのこと。窓から入る風に子どもたちは「気持ちいい」と大喜び。こまめに線量の低い場所に出かけていく計画を立てようと思えます。

東日本大震災被災地支援募金にご協力ください

すべての支援活動は、募金によって支えられています。

2013年度募金目標額（一般募金）：2,000万円

<2013年4月1日から4月30日現在 募金状況>

国内から227万円 国外から0万円

<<合計227万円>>

<目標に対する不足額>

1773万円

お祈りとご協力に心から感謝申し上げます。

送金先：郵便振替00140-9-180881 宗教法人日本バプテスト連盟総務部

※「大震災被災地支援募金」と明記してください。※募金は極力、教会単位でご送金ください。

海外からの募金は別口座になります。総務部までお問い合わせください。